

YONEX Cup International Friendship Ladies Badminton Tournament 招致活動

2019 第 48 回世界清晨盃暨吳文達盃羽球錦標賽に参加して

大阪府レディースバドミントン連盟
副理事長 木村 幸子

大会日 2019 年 4 月 11 日～14 日

会 場 台北體育館

4 月 10 日の総会后、夕刻には関西国際空港集合と慌ただしいスタートを切った今回の台北遠征。

今回の大阪婦女隊の参加者は 14 名。廣瀬会長・土肥副会長・竹田理事長以下例年参加の面々で、連絡は LINE で行い、Wi-Fi の不都合な場所があっても問題なく、それぞれ異なる試合時間にも各自で対応と国内大会と思わせる。これも事前にタイムテーブルを入手し、日毎のスケジュールを決定しているおかげともいえる。

2 日目の夜は歓迎レセプション。参加賞の記念 T シャツで参加し、国際親善でお顔馴染みの方々との再会に歓喜し、大音響のカラオケに話を中断されることもしばしばあった。

3 日目は中華全民羽球発展協会婦女羽球壽備處(レディース連盟)とのランチ会があり、国際親善の選手の受入れ等の話し合いや両連盟の親交を深める良い機会であった。他に、国際親善部の山内部長・池田副部長はマレーシアでの W C B F の大会誘致の会議に招かれ、他国の大会からも声がかかる関係性を構築してくれていた。

本大会は合算年齢や同年代・混合複などの試合があり、各自 2 種目にエントリーし、金銀銅のメダルを数個獲得。なかでも竹田・希有ペアの準決勝では熱戦を極め、多くのギャラリーの注目を浴びる好試合であった。

4 日目の夜はフェアウェルパーティがあり、壇上で各国から音楽によるパフォーマンスを行うのだが、今年の婦女隊は違った。365 日の紙飛行機の歌にあわせて衣装・ダンスから最後の決めポーズまでホテルの部屋で練習。若い方々のセーラー服姿にカメラのシャッター音が止まなかった(笑)。

両手いっぱいのお土産とおもてなしに感謝し、同行の方々のイッパイの笑いとお気遣いに感謝する楽しい大会であった。